

# 営業から専門職種まで 幅広いプロが活躍する業界

最近さまざまな事件でも注目されることの多い住宅業界。建築士などのクリエイティブ職から、技術が自慢の職人、業界未経験者歓迎の営業職、さらに表に出にくい職種まで、幅広いプロフェッショナルが活躍し、人々の生活に必要な「住」を支えている。

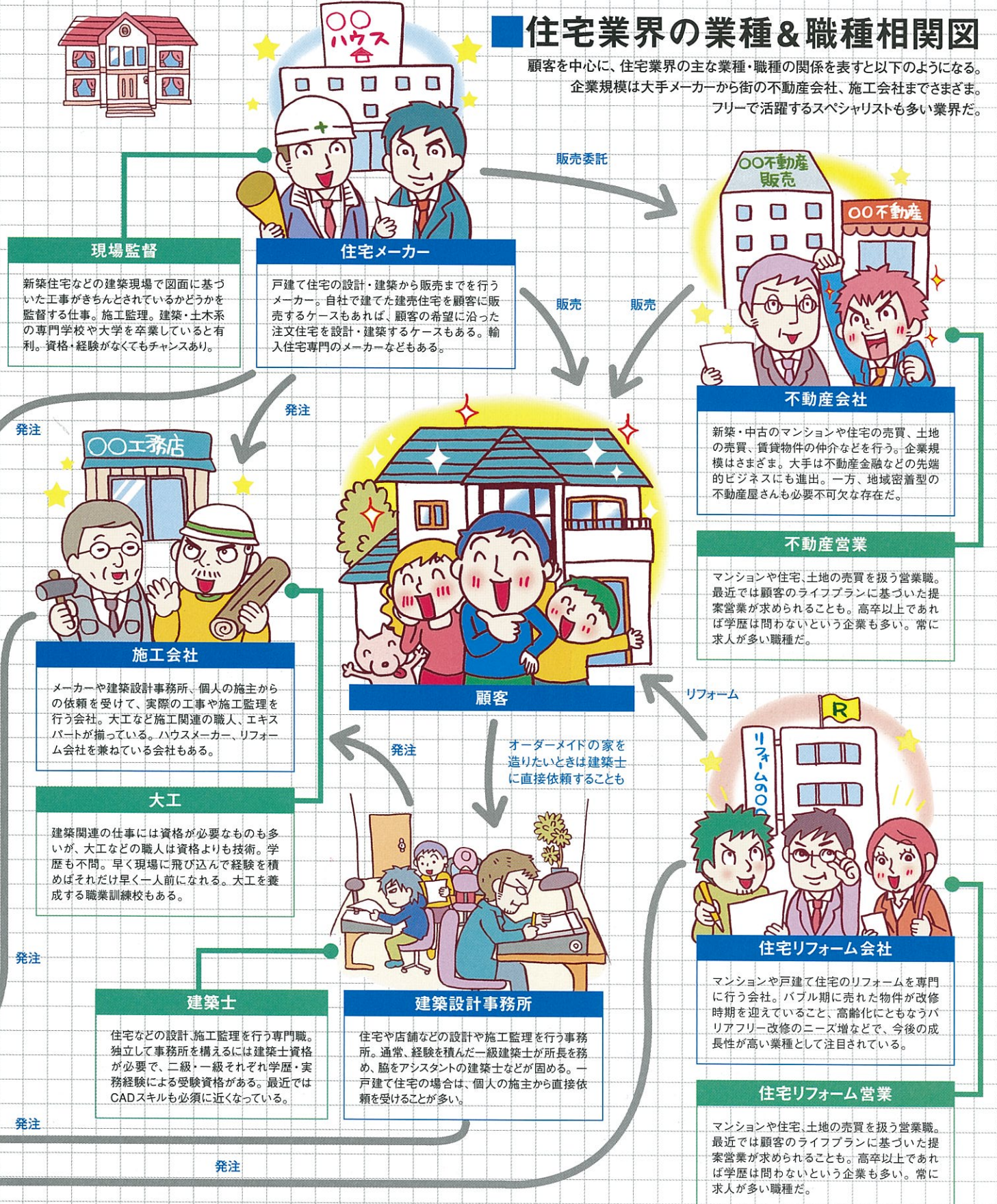
撮影/徳田貴久 イラスト/藤井昌子

仕事ができる業界図鑑

# vol.2 住宅業界

## 住宅業界の業種&職種相関図

顧客を中心に、住宅業界の主な業種・職種の関係を表すと以下になる。企業規模は大手メーカーから街の不動産会社、施工会社までさまざま。フリーで活躍するスペシャリストも多い業界だ。



## 耐震強度偽装問題で検査機関にも注目が集まる

建築業界で昨年から話題を集めているのが、一連のマンション耐震強度偽装問題。今回問題となったのは主にマンションだが、一戸建て住宅でも耐震構造、免震構造に優れた強い住宅へのニーズは強くなっており、第三者評価機関による建設住宅性能評価や住宅性能保証なども徐々に浸透してきた。ただし、規制緩和で民間の検査機関による建築確認が認められるようになったことから生じる課題も今回浮き彫りとなった。今後は、さらに検査態勢などの見直しが進められていくはず。それにとまない、建築士などの有資格者の新たな活躍の場としてこれら検査機関も注目されるところだ。

そのほか、最近の住宅業界でキーワードとなっているのは、「オール電化」「自然素材」「シンプルモダン(デザイン性の高い近代的な建築のこと)」、さらに省エネに配慮した「エコ住宅」など。便利、安全は当然のこととして、個人・家族のライフスタイルや志向に合わせた個性的な家づくりが求められるようになってきている。

## ●インテリア、エクステリア関連

**インテリアコーディネーター**

顧客の要望に沿って、家具やカーテン、住宅設備などを選択し、快適な住空間を提案する仕事。インテリアコーディネーターという資格があり、年1回試験が実施される。受験制限は特になし。

**キッチンスペシャリスト**

顧客のニーズに合わせて快適で使いやすいキッチン提案するスペシャリスト。同名の資格あり。最近では、家造りやリフォームの際に主婦の意見が重視されるようになっており、注目されている。

**庭師・植木職人**

庭師は日本風の庭づくりや維持管理を行う職人。植木職人は日本風庭園の樹木・草花のデザインや手入れを行う仕事。共通する領域も多い。造園会社や個人の職人のもとで修業して技術を磨く。

**エクステリアプランナー**

住宅のエクステリア(庭や門扉などの外面)のデザインをする仕事。造園会社、エクステリア会社などで活躍。施工まで担当する場合もある。エクステリア関連の資格は複数の団体が主催している。

## ●施工関係

**電気工事士**

住宅や店舗などの配線工事や照明器具の取り付けなどを行う技術者。電気工事会社に勤務するケースが多い。従事するには電気工事士(第1種・第2種)の国家資格取得が必要。受験制限は特になし。

**配管工**

給排水やガス、空調の配管工事を行う技術者。専門分野ごとに水道工事会社、ガス工事会社など勤務先は異なる。扱う材料により溶接の資格が必要。管工事施工管理技士の資格があると仕事の幅が広がる。

**各種専門業者**

1軒の家を建てるには、多くの専門業者がかかわる。インテリアやエクステリア関連の専門家や職人、電気やガスなど設備関連の技術者…。上で紹介している以外にも、家具職人、照明の専門家などまだまだたくさんのエキスパートがいる。